かき

主な加害種：ヒヨドリ、ムクドリ、カラス、サル、ハクビシン、アライグマ

かきは鳥ではムクドリ、ヒヨドリ、カラスが主に食害するが、皮が柔らかいため判別が難しく、複数種による被害であることも多い。メジロなども食害する。獣類ではサル、ハクビシン、アライグマなどが食害する。



加害種：ヒヨドリ

果皮についているＶ字型の切り裂きが細く、食痕も浅く、カラスとは異なる。ヒヨドリが食害していたところを観察した。

撮影：山口



加害種：ムクドリ

ムクドリが食べているところを確認した。次の写真のように、果実が傷んだ部分から食害が始まることはよくみられる。

撮影：吉田



鳥獣害痕跡図鑑



加害種：ハシブトガラス

果皮についているＶ字型の切り裂きが太く、ハシブトガラスの嘴の大きさである。なお、この写真は少し乾燥して特徴が分かりにくい。

撮影：吉田



加害種：ハシブトガラス

ハシブトガラスが群れで食べているところを確認した。果肉についた嘴の痕が太い。

撮影：吉田



加害種：ハシブトガラス

ハシブトガラスが群れで食べているところを確認した。果肉についた嘴の痕が太い。樹下に落ちて食害されていた果実。

撮影：吉田



加害種：ムクドリ

ムクドリは群れで食害することが多い。

撮影：山口

鳥獣害痕跡図鑑



加害種：ハシブトガラス

飼育個体での摂食実験時の写真。ハシブトガラスの大きなくちばしでついばんだ痕がわかる。カラスは果実の皮（写真内の小片）を食べずに残すことがある。

撮影：吉田



加害種：ハシボソガラス

飼育個体での摂食実験時の写真。ハシボソガラスの細いくちばしで何度も細かくついばんだ痕がわかる。ムクドリやヒヨドリの食痕と区別しにくい。

撮影：吉田



加害種：ニホンザル

ニホンザルがかきを食べた跡。先端の部分を果皮ごと食べている。

撮影：上田

鳥獣害痕跡図鑑



加害種：ニホンザル

かきの木の下に、ニホンザルが食べた跡のある実が散乱していた。

撮影：上田



加害種：ニホンザル

かきを食べるニホンザル。

撮影：上田



加害種：ニホンジカ

かきの葉を食べるところ。立ち上がって、葉の付いた枝先を口でくわえて折り取って食べた。

撮影：上田

NAROchannel https://youtu.be/zeIaJ2vFf4g
で動画を見ることができます。

鳥獣害痕跡図鑑



加害種：ニホンジカ

かきの実を食べるところ。

撮影：上田

NAROchannel https://youtu.be/tNmhn5gU5_g
で動画を見ることができます。



加害種：ツキノワグマ

枝を折られたかきの木。

撮影：上田



加害種：ツキノワグマ

幹に付いた爪痕。

撮影：上田

鳥獣害痕跡図鑑



加害種：ツキノワグマ

かきを食べた糞。ツキノワグマの糞は食べたものがあまり消化されていないように見える状態で排出され、特定の食べ物に集中した構成になりやすい傾向がある。

撮影：上田



＜参考＞タヌキ、アナグマ

摘果した西条柿をタヌキ（左奥）とアナグマ（右）が夜間に食べに来ていた。ハクビシンやアライグマとは異なり、タヌキやアナグマは木に登ることは少ないため、樹上の果実を食害することはあまりないが、このように地面にある果実はよく食べる。

撮影：上田